

平成 23 年 6 月 10 日

最 高 検 察 庁

検事総長 笠間治雄 殿

中司宏を支援する会

代表 和泉 克弥

署名簿の提出について

「大阪地検特捜部事件の調査・検証と取り調べの全面可視化を求める署名」の賛同者署名簿を提出いたします。

最高検察庁におかれましては、郵便不正事件に絡む大阪地検特捜部の不祥事を受けて改革に取り組んでおられますことに心から敬意を表します。

私たちは、平成 19 年に当時の中司宏枚方市長が逮捕・起訴された談合事件が冤罪であると考えています。

中司氏と同じく談合罪に問われ、無罪が確定した小堀隆恒副市長が、検察の在り方検討会議でヒアリングを受けられたことは、枚方談合事件そのものが、検察ストーリーのような官製談合ではなかったことを物語っています。

そこで、現在上告中の中司氏を支援し、その一環として、大阪地検特捜部の捜査の誤りを指摘して調査・検証を求めるとともに、二度と冤罪が起きないよう取り調べの全面可視化を求めて署名活動に取り組んでいます。

先般 4 月 18 日に第 1 次分の署名簿（25168 名）を提出いたしましたが、本日第 2 次分として下記の通り 16432 名の賛同者署名簿（原本は法務大臣宛提出）を提出いたします。

どうか、多くの署名賛同者の声をお聞き届け下さいますようお願い申し上げます。

みなさまの益々のご活躍を心からお祈り申し上げます。

記

賛同者署名簿第 2 次分 第 1～第 3 分冊、オンライン署名 1 冊 計 16432 筆

第 1 次、第 2 次の総計 41600 筆